

読書感想文提出期限、8/20(木)にて終了

皆さん夏休みはどのような過ごししましたか？心に残る本と出会うことはできたでしょうか？
 休み前から募集していた読書感想文に応募した人は何か手応えを感じることはできましたか？
 課題に取り組んだことで文章表現力が向上し、身につけてきたのではないのでしょうか。
 残暑厳しい日々ですが、夏休み中に養った英気を集中力に変えて充実した学校生活を送りましょう。



新着本(全31冊)



青のナースシューズ/藤岡陽子/KADOKAWA
 シングルマザーで働き詰めの母に代わって車椅子の弟の面倒を見てきた岡崎成道は、看護師を目指して大学に進学する。40人のクラスに男子はたった5人。覚悟はしていたものの看護業界は女性中心で、講義も実習もトラブル続きだ。自分は必要とされていないのではないかと。思い悩む成道は、ある患者の担当になり――。



きょうからできるあたらしいこと100/松浦弥太郎/小学館
 仕事や生活にマンネリを感じたり潤いを失って、何か変化を求めているとき。あるいは、仕事の立場が変わったり、別の職場に変わったりして、何かこれまでと違ったことを始めたいという気持ちになったとき。そんな思いに寄り添う100のヒントを人気エッセイスト松浦弥太郎がお贈りします。



台湾&沖縄 チュラネシアへの旅 亜熱帯カルチャーツーリズム/三枝克之/リトル・モア
 沖縄県・与那国島と台湾東部・宜蘭県南方澳の近さには驚くばかり。台湾と沖縄には、さまざまな側面で共通点がいっぱい。おらからで美しいきょうだいのような2島から国境を外し「チュラネシア」と呼ぼう！台湾＋沖縄＝チュラネシアをひもとく大百科、誕生です！



素面のダブリン市民 ゆるふわアイルランド紀行/北村紗衣/書肆侃房
 大学の在外研究で1年間ダブリンに住むことになった英文学者のアイルランド滞在記。文学、ことば、劇場から、最悪の住宅事情に、紅茶論争、ポテトチップス文化まで。



13歳からの戦争学/小川和久/アスコム
 本書は、40年以上第一線で戦争を分析してきた専門家がその背景にある「仕組み」を13歳にもわかるようにやさしく解き明かします。バラバラだった情報が、ひとつの流れとしてつながる。なぜ戦争は起きるのか。世界はどこへ向かうのか。日本はこれからどうなるのか。この本を読み終えたときニュースでは見えなかった「私たちの未来」が見えてきます。



少子化に打ち勝った保育園 熊本「やまなみこども園」で起きた奇跡/石井光太/新潮社
 「この園と共に生きていきたいからもう一人産みました」。保育のプロが注目する園は、保育士、保護者、地域住民が子育ての喜びを分かち合う「大きなおばあちゃんち」。常識を超えた遊びと、桁違いの刺激に満ちた日常。「関係性の束」を大切にしたら発達障害が消えた――人生の土台と一緒に育む現場から届ける感動のルポ。



海をわたる言葉 翻訳家ふたりの往復書簡/クオン・ナミ、村井 理子/集英社
 日本と韓国でそれぞれ活躍する翻訳家ふたりが、SNSでの出会いをきっかけにおよそ1年間にわたるメールで交わした、仕事、家族、親の介護と看取り、自らの健康や愛犬との別れ。翻訳という仕事を通じ、「言葉」と常に真摯に向き合ってきたふたりが、その「言葉」を尽くしてとことん語り合う、いまを生きる私たちへの共感と励ましに満ちた往復書簡スタイルのエッセイ。



書店に行くといきたいイイコトが起こる/杉浦正人/草思社
 積読OK、途中放棄OK。忙しい人ほど、本屋が効く。「毎日新刊本100冊見てる書店員」による1ページから始める読書術。「とりあえず本屋に行って、意味もなく棚を眺めてみようか…」そんな、ゆるく心地よい気分になれるかもしれません。

その他

※赤字作品は今年度の青少年読書感想文全国コンクール課題図書

- ・平和のうぶごえ「原爆の子」として生きた80年/早志百合子/毎日新聞出版
- ・スウィッシュ/藤ノ木優/徳間書店
- ・夜明けのハントレス/河崎秋子/文藝春秋
- ・多類婚姻譚/風良ゆう/講談社
- ・ノーマイク鑑定士/石田夏穂/中央公論新社
- ・耳で聴く美術館aviと心が震えるアートの話をしよう/avi/河出書房新社
- ・野菜のいいぶん 誰も教えてくれない秘密のレシピ130/白崎裕子/ダイヤモンド社
- ・日出ずる国へ イタリア外交官の日伊交流再発見の旅/マリオ・ヴァッターニ/三修社
- etc



7月末クラス別利用状況

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	2	0	0	0		2	38
2年	0	0	0	0		0	
3年	4	12	5	9		30	
職員					6	6	